

## 〈熊本支部例会事前抄録〉

日時：2023年10月10日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

— 一般講演抄録 1 —

### 欠損歯列を有する骨格性下顎前突の患者に

### 外科矯正と咬合再構成を行った1症例

飯干 光男 ひかり歯科クリニック 〒867-0043 熊本県水俣市大黒町 2-3-12

#### ■抄録

現在の医療は「医師主導から患者主導の治療」にしていくべきだと言われている。本症例は、骨格性反対咬合の患者に骨切術と矯正治療、補綴により咬合再構成を行ったものである。

治療前に治療計画について、十分なインフォームドコンセントを行い、医術的正当性及び医学的適応性を満たしていると考え着手した。

しかし、処置に取り掛かった後に、治療方針決定の過程を思い返してみると、患者が主張するタイプの人でなかったこともあり、歯科医師主導で決まっていた様に思われる。そのことが根本にあり、長期にわたる治療と外科処置のために、患者の心身に大きな負担を与え、一時的に健康を損ねる結果を招いた。

現在は、治療を終了し患者も満足しているが、対応次第では全く違う悪い結果もあり得たかもしれない。